

NPO 法人 建築設備コミッショニング協会 (BSCA)
2015 年 公開シンポジウム

CxF(コミッショニング事業者)登録制度の創設
とCxBizの展開 in 関西

最近、省エネルギー化、CO₂ 排出削減の実現において、コミッショニング(Cx)が有効なプロセスであると認識されつつあり、当協会にも、コミッショニングの導入を検討しているが適切な受託事業者はどうしたら見つかるかという、建物オーナーからの相談がくるようになりました。しかし、建物オーナーがコミッショニング業務を受託できる適切な組織(コミッショニング事業者=CxF(FはFirmの意味))を見つけることは、情報が乏しく難しいのが実情です。そこで当協会では、2015年4月に「CxF登録制度」を創設し、この事業者情報をホームページ等で広く社会に紹介するしくみをスタートさせます。

今回のシンポジウムは、これを機に、当協会の関係者が関与して選定した CxF や、当協会自身が先導的なCxFとなって関わっているCxプロジェクトを題材に、建物オーナーとCxFという両方の立場から、その目的、意義、課題などについて発表してもらい、コミッショニング業務受託事業者(CxF)登録制度の発進の場にしたいと考えています。是非、奮ってご参加ください。

なお、シンポジウムの前には、京都駅ビル熱源設備システムの見学も企画しておりますので、ご興味のある方は、希望者先着順となりますがシンポジウムと合わせてご参加ください。

【日 時】平成 27 年 3 月 17 日(火)

シンポジウム 14:00～17:10

熱源設備改修中見学会 12:30～13:30 希望者のみ(先着順 30名)

【場 所】ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間」

(〒600-8216 京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅直結)

見学会集合場所: 2F 駅ビルインフォメーション前 (南北通路 伊勢丹前付近)

【定 員】80名

【参 加 費】BSCA 会員 5,000 円(BSCA 賛助会員は2名まで会員価格)、非会員 7,000 円

(参加費は、当日受付で現金でお支払い下さい。引き換えに領収書をお渡し致します。)

【申込方法】BSCA ホームページ(<http://www.bsca.or.jp>)の申込みサイト

【申込締切】平成 27 年 3 月 10 日(火) 定員に達すれば締切期日の前に締め切ります。

【問合せ先】NPO 法人建築設備コミッショニング協会

事務局 tel: 080-8512-2681, e-mail: bsca.mail@bsca.or.jp

【主 催】NPO 法人 建築設備コミッショニング協会

【協 賛】 (公社)空気調和・衛生工学会 (一社)日本建築学会
(予定) (一社)建築設備技術者協会 (一社)建築設備総合協会
(一社)一般社団法人日本ビルディング協会連合会
(一社)ESCO 推進協議会 (一社)関西 ESCO 協会
(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター

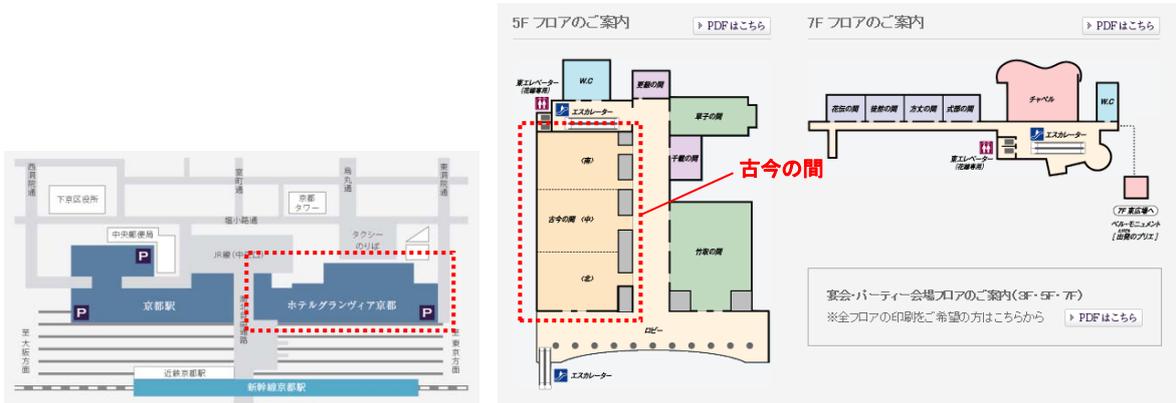
なお、本シンポジウムは、「建築CPD制度認定対象プログラム」、「空気調和・衛生工学会CPDシステム」の対象プログラムとして申請する予定です。

【プログラム】

時間	講演・見学会内容 講演者
12:30 ～13:30	京都駅ビル熱源設備見学会 岡田敦(京都駅ビル開発(株)) 工事中の熱源・空調設備システムをコミショニング(Cx)の視点も加えて説明しながら案内します。
14:00 ～14:20	シンポジウム主旨説明と CxF 登録制度の概要 主旨説明 吉田治典(BSCA 理事長 京都大学名誉教授) CxF 登録制度の概要 松下直幹(BSCA・CxF 登録制度立上 WG 主査 (株)アレフネット部長) 本シンポジウムの開催趣旨を述べ、2015年4月からスタートするCxF登録制度の創設背景、審議の経過、制度の概要について解説します。
14:20 ～15:00	事例1: 京都駅ビル熱源・空調設備改修工事の Cx プロジェクト オーナーとして 高浦敬之(京都駅ビル開発(株) 常務取締役) CxFとして 吉田治典(前出) 環境モデル都市・京都を代表するビルを目指して、約60%という大幅な省CO ₂ を図る改修プロジェクトです。コミショニングは企画・設計フェーズから導入され、現在、施工フェーズに入りました。竣工後の一年間を機能性能試験の期間に充てて契約するなど、従来の枠組みとは異なる新しい対応もしています。こうした、本格的に全フェーズに Cx を適用し 100 年建築を実現する新奇性が評価され、国土交通省の平成 26 年度第 2 回省CO ₂ 先導事業として採択されています。
15:00 ～15:10	休憩
15:10 ～15:50	事例2: 長崎県庁新庁舎建築工事の Cx プロジェクト オーナーとして 高屋 誠(長崎県総務部県庁舎建設課 参事) CxFとして 赤司泰義(BSCA 副理事長 東京大学教授) 一般的な官公庁ビルと比較して、運用段階のエネルギー消費量を 40%削減することを目標に、他県に先駆けた取り組みとして新庁舎の企画・設計フェーズにコミショニングを適用したプロジェクトです。平成 26 年 2 月に実施設計が完了し、現在、施工フェーズが始まったところですが、竣工後の「機能性能試験」の実施に向けて、全 39 項目に亘る性能試験項目の測定・評価方法をまとめた仕様書も先行して作成しました。
15:50 ～16:30	事例3: 虎ノ門ヒルズ森タワーの Cx プロジェクト オーナーとして 大森一郎(BSCA 会員・森ビル) CxFとして 大串辰雄((株)日本設計 環境・設備設計群 副群長) これまで大規模なテナントオフィスビルに潜顕分離の具現化したものはなく、本建物のシステム導入だけでも社会発信のインパクトが大きいプロジェクトです。さらに中温冷温水を採用した繊細かつ複雑さを含んだシステムであるため、専門家による運用段階の Cx を実施することにしました。また、国土交通省の省 CO ₂ 先導事業に採択され技術導入の成果報告にも Cx を適用する予定です。
16:30 ～16:40	休憩(準備)
16:40 ～17:10	パネルディスカッション コーディネーター 木虎久隆(BSCA 会員・関西電力(株) お客さま本部 副部長) 講演者とともに、CxF の発展のあり方、課題について議論します。

【アクセス】

1) シンポジウム会場



◆中央改札口より
正面右側エスカレーターを上がり、2階ロビーへお越ください。

◆西改札口より
右折し南北自由通路を進み、右手エスカレーターより、ホテル和食レストラン街を通り、ロビーへお越ください。

【住所】
ホテルグランヴィア京都
〒600-8216
京都府京都市下京区烏丸通堀小路下ル
JR京都駅中央口
TEL:075-344-8888 / FAX:075-344-4400

> Google Mapで表示する
> 来館へのご案内PDFをダウンロード

車椅子ご利用のお客様へご案内
・JR京都駅各改札口とホテル間の送迎サービスを行います。事前にご連絡いただく到着時刻にあわせてお迎え、チェックアウト後のお送りが可能です。

・1Fから2Fホテルロビー、また駅ビル内南北通路(2F)からMDFホテル入り口へご連絡いたします。
エレベーター、エスカレーターの専用運転によりご誘導いたします。

The station map shows the route from JR Kyoto Station (Central Exit) to the hotel. It highlights the 'JR西改札口' (JR West Exit) and the '南北自由通路' (North-South Free Passage). A red dashed box indicates the path from the station to the hotel entrance.

2) 見学会集合場所

